

問 機能別消防団員制度導入は

答 団員の状況を見ながら
検討する



よこ た たつ ひさ
横 田 龍 寿 議 員
(政 和 会)



火災対応の中心である消防団本部

問 元年第4回定例会で質問した消防団OBを機能別消防団員とすることに「今後、も他市町村の成功事例をお聞きしながら前向きに検討していきたいと思う。」と前向きな答弁があったが現時点でどのように考えている

のか。
佐藤町長 機能別消防団員とは、それぞれの能力や特徴を生かしながらあらかじめ決めた特定の活動や、時間の許す範囲でのみ消防団活動に参加するもので、消防団OBの活用も含まれる。本町での機能別消防団員制度導入については、以前より検討を重ねていたが、役割分担、報酬及び装備等の制度設定や災害活動における安全管理についてなど引き続き課題が多く、また、山田町消防団では、あくまで基本団員の需要が高いこともあり導入に至っていない。機能

別消防団員制度には全国的に減少する消防団員確保という側面もあるが、本町では、本年、消防団員確保について、報酬の見直しなど処遇の改善を行ったところであり、今後、その効果を注視するとともに、引き続き機能別消防団員についても検討していく。

が、役場から離れた場合、現場付近の住民の不安を和らげたいと私は考えている。先日の防災訓練に参加した航空自衛隊第37警戒隊山田分屯基地の自衛消防組織までは求めないが、民間企業などに自衛消防組織的な組織を作り、地区の分団との連携を進めてはどうか。
内田消防防災課長 今後も研究検討を続けていく。

その他の質問

◆釣りを誘致するイベントを開催し、観光客の誘致へとつなげては